

出雲石見鳥取

題字
大國 将幸
(出雲一中2年)

小泉八雲の石像披露

小泉八雲の石像を披露する小松昭夫社長(左)と坂根正敏代表理事。松江市八雲町西岩坂、八雲構造改善センター・山村広場



【松江】小泉八雲と妻セツが過ごした松江を国内外に広めようと、小泉八雲の石像がこのほど、松江市八雲町西岩坂であった「やくも夏まつり」で披露された。

石像は一般社団法人「まつえ東本町へるんロード」が制作した。松江市中心部のにぎわい創出を目指し、八雲の石像はフォトスポットをつくり、観光客を呼び込もうと企画した。

(石飛達哉)

披露された石像は、八雲が英語の授業をしている様子で黒板に「Open minded」と板書する姿をイメージした。高さ約1・2メートルで、地元の来待石を使った。9月中旬、大橋川沿いに設置する予定という。

石像制作の寄付をした小松電機産業(松江市乃木福富町)の小松昭夫社長(81)は「コケが付きやすい来待石の特徴や八雲のオープンマインドの精神から共生の心を感じ取ってほしい」と話した。

まつえ東本町へるんロードの坂根正敏代表理事(69)は「国内外に八雲やセツのことを知ってもらい、松江の活性化につなげたい」と話した。